第16回「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成（VL）」講習会開催のお知らせ

「雲と大気成分で診る地球」

平成19年度より、東京大学大気海洋研究所・千葉大学環境リモートセンシング研究センター・名古屋大学宇宙地球環境研究所・東北大学大気海洋変動観測研究センターの4大学センターの共同プロジェクトとして、文部科学省・特別教育研究経費「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成」が開始されました。本プロジェクトでは、地球気候系の診断を行うために、気候・環境研究に関わる表記4大学センターが協力してバーチャルラボラトリー（VL）を形成し、各センターの研究資産を活かした研究・教育を行います。VLの一環として、大学院生や若手研究者を対象に連携研究を促進するための講習会をシリーズで実施しています。今年度は、東北大学が主幹となり下記の要領で講習会を開催します。是非ご参加ください。

日時：2023年3月1日(水)13時 – 2日(木)15時
場所：東北大学大学院理学研究科　物理系研究棟場所：東北大学大学院理学研究科 物理系講義棟および物理系研究棟
（下記キャンパスマップでH-24、H-26の建物）

https://www.sci.tohoku.ac.jp/campusmap/kita-aobayama/

講習内容：
【講義（コース共通）】
- 地球表層での温室効果気体循環研究に関する講義
- 大気の衛星観測の歴史に関する講義
場所：物理系講義棟3階第2講義室
【実習（コース別）】
Aコース「大気中の温室効果気体の変動を診る」温室効果気体と関連要素の測定方法の実習を行い，さらにこれまでに観測された温室効果気体データを解析してその変動原因について考察する。
場所：物理系研究棟（H-26）4階地球物理学専攻第2講義室、その他
Bコース「地球観測衛星データを用いた機械学習による雲の解析」：Himawari-8/CloudSat/CALIPSO等の各種地球観測衛星のデータを用いて雲の識別と光学・微物理特性推定の実習を行い、機械学習による統計的モデリングの手法を修得する。
場所：物理系講義棟3階第2講義室
【定員】実習コース別に定員（Aコース20名，Bコース30名）になり次第そのコースの応募は締め切ります。
【対象】大学院生、学部学生、若手研究者（所属大学・機関は問いません）
【参加条件】実習で使用するPCは各自で用意してください。
【参加費】無料
【昼食代】500円
（現在、理学研究科の生協食堂は建物改修工事のため利用できません。また、生協売店も仮店舗営業のため春休み期間中は弁当の数が限られます。従いまして2日目の昼食は弁当をまとめて注文します。）
【懇親会】今回の講習会では、新型コロナ感染症の状況に鑑み、懇親会は開催しません。
【参加申込の締切】2023年2月6日（月）
【参加申込み方法】
以下のサイトにて必要事項を記入の上、申し込んでください。
なお、旅費が必要な方には、1泊2日分、5万円を上限に支給します。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScO8ARg3Kbxpe6p9e0WVeLJtkQX3tVKiZdHyolOV9FUBMvb9A/viewform

【問い合わせ先】
東北大学大学院理学研究科大気海洋変動観測研究センター
プラディープ・カトリ（Pradeep Khatri）
E-mail: pradeep.khatri.a3@tohoku.ac.jp